

# **CLAIR SUMMARY**

## **オーストラリア1996年国勢調査**

(1996 Census of Population and Housing)の結果の概要

CLAIR SUMMARY NUMBER 021 (Oct. 20, 1997)

**Council of Local Authorities for  
International Relations**



**財団  
法人  
自治体国際化協会**

**調査部**

〒100 東京都千代田区新霞が関ビルディング19階

TEL 03-3591-5483 FAX 03-3591-5346

# 目 次

	ページ
I 調査概要	1
II 調査結果概要 <オーストラリア概況>	2
<地域別概況>	
1 性別人口	4
2 年齢別人口	5
3 出生地	6
4 家庭で他国語を使用する人口	7
5 先住民系人口	8
6 所 得	9
7 住宅の保有方式	10
8 家賃額	11
9 住宅のローン支払額	12
<オーストラリアと日本との比較>	
・ 人 口	13
・ 年齢別人口	13
・ 住宅の持ち家率	14

## は　じ　め　に

オーストラリアの1996年国勢調査(Census of Population and Housing)の調査結果の概要が、去る平成9年(1997)年8月に発表されました。

同国の国勢調査は、日本と同様に5年に1回実施されておりますが、今回の調査は、平成6年10月に当協会シドニー事務所が開設して以来、初めてのものになります。

オーストラリアについては、日本よりも20倍大きい国土に日本のわずか15%の人口が暮らす広大な国であること、現在は多文化主義を掲げ、多くの移民を受け入れていることなど、イメージとしては多くの日本人がある程度理解していますが、具体的な数値で同国の社会の現況を知る機会はあまりないのではないでしょうか。

今回の国勢調査の結果からは、オーストラリアにおける高齢化の状況、外国生まれの人口の割合やその出生地、各州ごとの所得の状況など、同国の社会や行政課題を考察する上での基礎的なデータを数多く得ることができます。

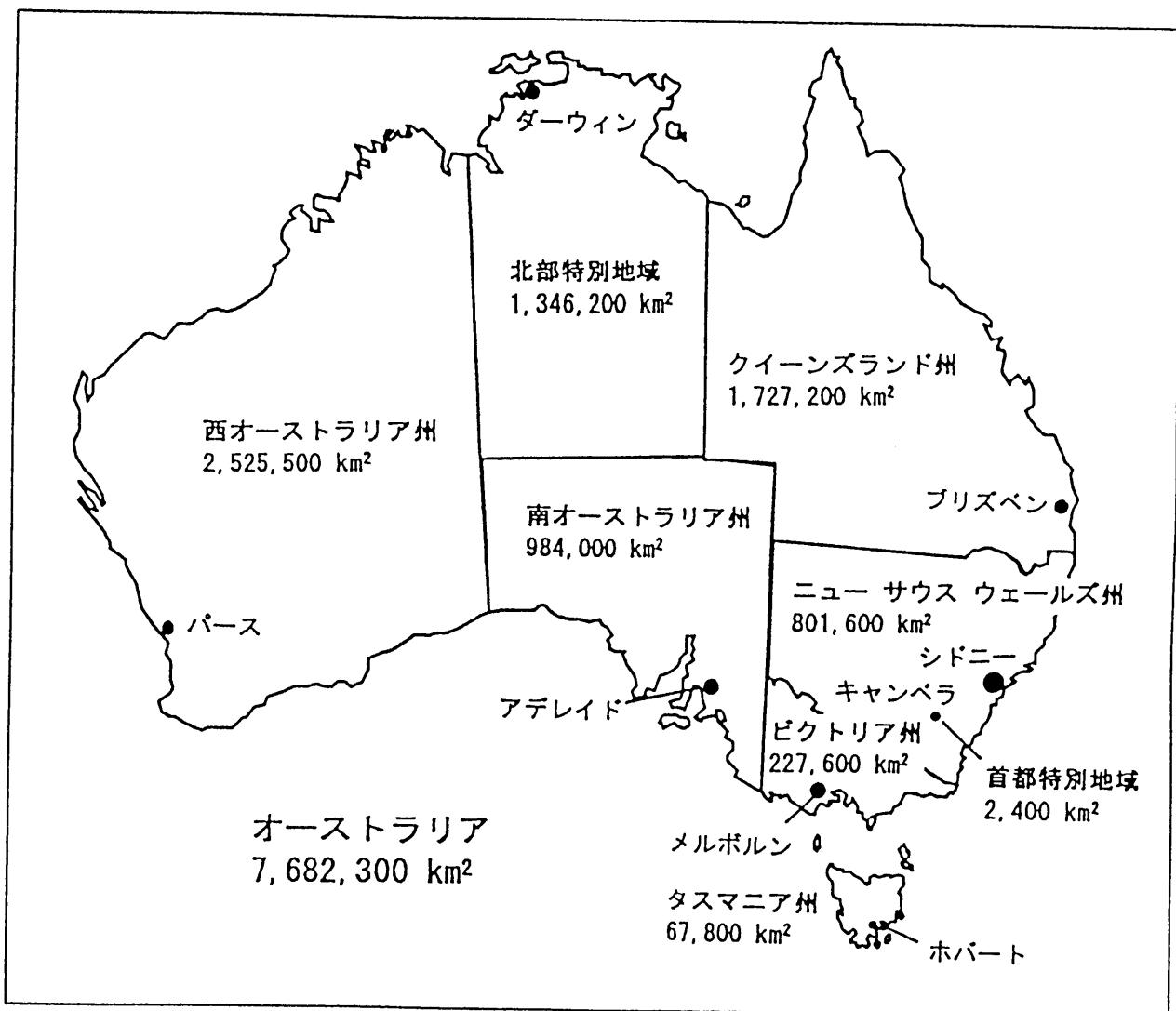
このCLAIR SUMMARYが、オーストラリアという国、オーストラリアの人々の暮らす社会やコミュニティをより深く理解する上での一助となり、日本とオーストラリアの国際交流の一層の充実に資することができれば幸いです。

1997年10月

財団法人 自治体国際化協会

シドニー事務所長

田 部 美 博



<オーストラリア統計局「年鑑1992年版」>

## I 調査概要

オーストラリアにおける人口・住宅調査(Census of Population and Housing)は、1905年のセンサス及び統計法に基づき1911年に最初に行われ、1961年以降は5年毎に行われており、わが国の国勢調査に当たるものである。

### 1 調査日

1996年8月6日の夜

### 2 調査対象

基本的には、調査日の夜における全住民を対象としている。

オーストラリアへの訪問者は、滞在期間の長さに関係なく調査対象とするが、調査日の夜に国外にいる住民は対象外としている。

なお、公式の人口統計(Estimated Resident Population)は、センサスの人口を次のように調整したものに基づいている。

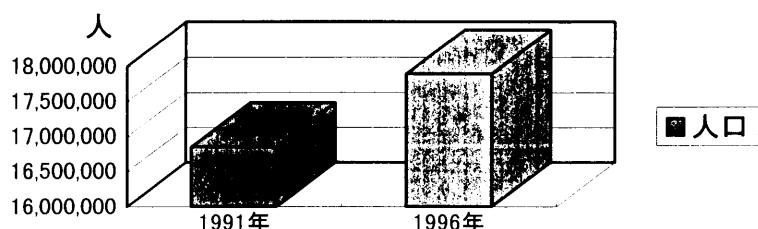
- 調査日の夜にオーストラリアにいたが、調査から漏れた者を加える。
- 調査日の夜に海外に一時的に滞在していた者を加える。
- 海外からの訪問者で、オーストラリアに常住しない者を除く。

## II 調査結果概要

### < オーストラリア概況 >

1996年におけるオーストラリアの国調人口は17,892,423人であり、1991年の調査（16,852,258人）時よりも1,040,165人（6.2%）増加している。

住宅1戸当たりの人口は、前回調査の2.8人から2.7人に減少している。



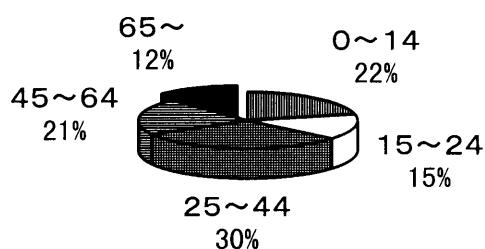
#### ● 年齢

オーストラリアにおける人口は高齢化しつつある。

1991年に32歳であった中位年齢は、1996年の調査では34歳となっている。

(注) 「中位」とは、median の訳で、中位数は中央値（データを大きさの順に並べたときちょうど中央に位置するデータの値）である。この値は、一群のデータ分布を上下半分に分ける値となる。通常、算術平均に比べ、特異な値によって大きく左右されない。このセンサスでは、中位数の計算に際し、「未回答」「海外からの訪問者」「該当なし」という回答分類を含めていない。

年齢別人口をみると、15歳未満は人口の21.6%、15～24歳は14.5%、25～44歳は30.8%、45～64歳は21.0%、65歳以上は12.1%となっている。



- 出生地

オーストラリア生まれの人口は、73.9%である。

外国生まれの人口のうち、約3分の1（36.2%）はイギリス、アイルランド又はニュージーランドからの移住者である。

その他の国では、イタリア、ベトナム、ギリシア、中国、ドイツの出身者が多い。

- 家庭で使用する言語

5歳以上の人団のうち、家庭で英語を使用する人口の割合は81.2%である。

英語以外の言語を使用する人口の割合は、イタリア語が2.2%、中国語が1.9%ギリシア語が1.6%などとなっている。

- 宗教

宗教ではキリスト教が最も多く、全体の70.3%を占め、イスラム教が1.1%仏教が1.1%、ユダヤ教が0.4%となっている。

なお、<No Religion>は16.5%を占めている。

- 先住民系人口

自分を先住民系とする人々の数は、1991年の265,458人から1996年の352,970人へと33.0%増加している。これらの人々の全人口に占める割合は、1.6%から2.0%に増加している。この増加は、自分が先住民系であると表明することをいとわない人々が増えたことが一因となっている。

- 教育

1996年において、人口の6.0%がTAFE(Technical and Further Education公立高等専門学校)や大学などの高等教育機関に在学している。（パートタイムも含む。）

- 所得

15歳以上の人々の週当たりの中位個人所得は292豪ドル（年間約15,184豪ドル）である。

なお、1991年における中位個人所得は268豪ドル（年間約13,936豪ドル）であった。

- 住居

現住の住宅のうち40.9%が完全所有の住宅であり、25.5%が購入中（ローン支払い中等）、28.7%が借家となっている。

## < 地域別概況 >

### 1 性別人口

全人口の 50.5% が女性、 49.5% が男性である。

女性人口の比率が最も大きい州は、ビクトリア州、南オーストラリア州及びタスマニア州（いずれも 50.8%）であり、最も小さい州は北部特別地域（48%）である。

(単位：人)

州名	男性	%	女性	%	合計
NSW	2,983,447	49.4	3,055,249	50.6	6,038,696
VIC	2,150,301	49.2	2,223,219	50.8	4,373,520
QLD	1,673,220	49.7	1,695,630	50.3	3,368,850
SA	702,215	49.2	725,721	50.8	1,427,936
WA	862,645	50	863,450	50	1,726,095
TAS	226,338	49.2	233,321	50.8	459,659
NT	101,370	52	93,731	48	195,101
ACT	147,830	49.4	151,413	50.6	299,243
その他	1,858	55.9	1,465	44.1	3,323
合計	8,849,224	49.5	9,043,199	50.5	17,892,423

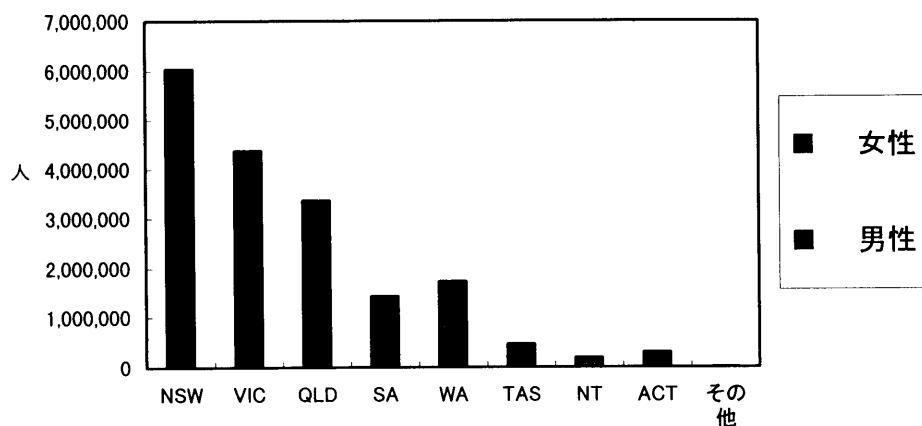
注：NSW はニューサウスウェールズ州、VIC はビクトリア州

QLD はクイーンズランド州、SA は南オーストラリア州

WA は西オーストラリア州、TAS はタスマニア州

NT は北部特別地域、ACT は首都特別地域

その他はジャービス・ベイ、ココス諸島、クリスマス島等



## 2 年齢別人口

すべての州で1991年よりも中位年齢が上昇している。

最も中位年齢が高いのは南オーストラリア州の35歳であり、最も低いのは北部特別地域の29歳である。

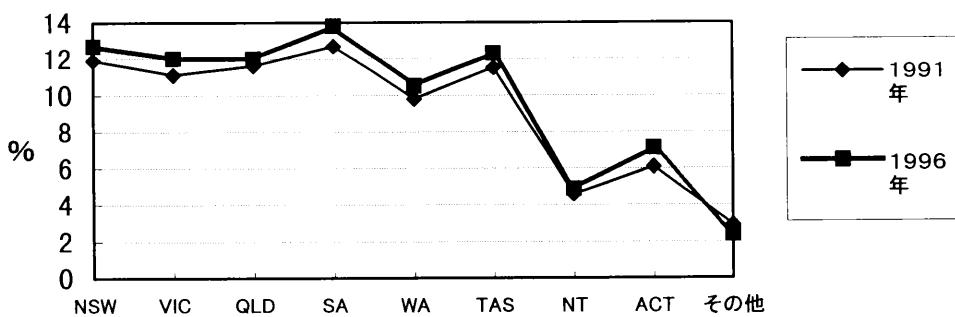
中位年齢の高い州は概して65歳以上人口の割合も大きく、最も大きいのは南オーストラリア州の13.8%、最も小さいのは北部特別地域の4.9%である。

この5年間で65歳以上人口の比率が高い伸びを示したのは、南オーストラリア州(1.1ポイント)、次いでビクトリア州(0.9ポイント)、ニューサウスウェールズ州・タスマニア州(0.8ポイント)となっている。

(単位:年齢は歳、比率は%)

州名	中位年齢		65歳以上人口比率	
	1991年	1996年	1991年	1996年
NSW	32	34	11.9	12.7
VIC	32	33	11.1	12
QLD	32	33	11.6	12
SA	33	35	12.7	13.8
WA	31	33	9.8	10.5
TAS	32	34	11.5	12.3
NT	28	29	4.6	4.9
ACT	29	30	6.1	7.1
その他	27	29	2.9	2.4
合計	32	34	11	12.1

州別高齢人口比率



### 3 出生地

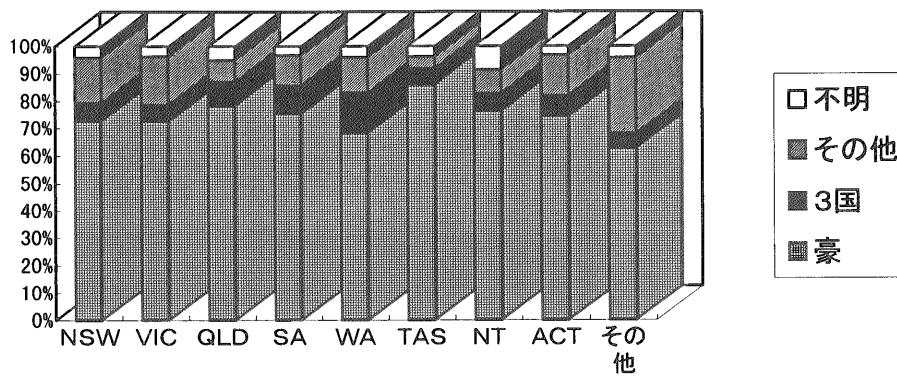
人口に占めるオーストラリア生まれの人々の割合を州別に見ると、最も割合が大きいのはタスマニア州（85.9%）、最も小さいのは西オーストラリア州（68.3%）である。

外国生まれ人口のうち、イギリス、アイルランド、ニュージーランドといった、オーストラリアと関係の深い国に生まれた人口については、西オーストラリア州においてその割合が最も大きく（14.7%）、次いで南オーストラリア州（10.1%）となっている。

上記3ヶ国以外の外国で生まれた人口の割合が最も大きいのはビクトリア州（17.6%）、次いでニューサウスウェールズ州（16.5%）、首都特別地域（14.8%）などである。

(単位：人)

	オーストラリア 生まれ人口	率 (%)	他国(UK、アイ ルランド、NZ) 生まれ人口	率 (%)	他国(左記3ヶ 国以外)生まれ	率 (%)	不 明	率 (%)
NSW	4,394,218	72.8%	394,092	6.5%	994,865	16.5%	255,521	4.2%
VIC	3,168,848	72.5%	269,644	6.2%	770,442	17.6%	164,586	3.7%
QLD	2,640,567	78.4%	291,287	8.6%	265,514	7.9%	171,482	5.1%
SA	1,077,533	75.5%	144,890	10.1%	157,634	11.0%	47,879	3.4%
WA	1,178,331	68.3%	253,537	14.7%	222,320	12.9%	71,907	4.1%
TAS	394,774	85.9%	26,666	5.8%	20,037	4.4%	18,182	3.9%
NT	148,951	76.3%	12,521	6.4%	16,914	8.7%	16,715	8.6%
ACT	222,477	74.3%	22,599	7.6%	44,147	14.8%	10,020	3.3%
その他	2,077	62.5%	183	5.5%	921	27.7%	142	4.3%
合計	13,227,776	73.9%	1,415,419	7.9%	2,492,794	13.9%	756,434	4.3%



#### 4 家庭で他国語を使用する人口

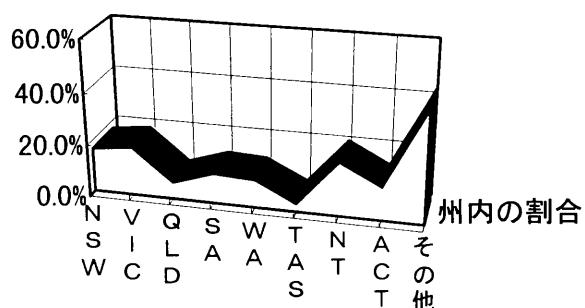
5歳以上で、家庭で英語以外の言語を使用する人口は、圧倒的にニューサウスウェールズ州（1,015,862人）及びビクトリア州（816,558人）に多い。

この2つの州では、イギリス、アイルランド、ニュージーランドの3ヶ国以外の外国生まれの人口の割合が大きい。

しかし、州人口に占める「5歳以上で、家庭で英語以外を使用する人口」の割合で見ると、北部特別地域（20.6%）が最も大きく、次いでビクトリア州（18.7%）、ニューサウスウェールズ州（16.8%）となっている。逆にこの割合の最も低いのはタスマニア州（3.1%）、クイーンズランド州（6.3%）である。

	家庭で外国語を使用する人口 (人)	州人口全体の中の割合 %
NSW	1,015,862	16.8%
VIC	816,558	18.7%
QLD	213,522	6.3%
SA	163,255	11.4%
WA	183,780	10.6%
TAS	14,241	3.1%
NT	40,164	20.6%
ACT	38,264	12.8%
その他	1,427	42.9%
合計	2,487,073	13.9%

州内の割合

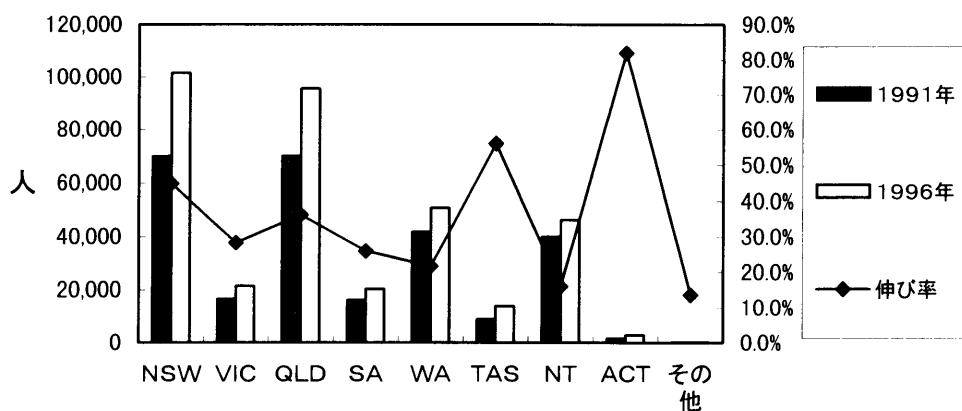


## 5 先住民系人口

オーストラリアの先住民の半数以上（55.8%）がニューサウスウェールズ州（101,485人）及びクイーンズランド州（95,518人）の2州に住んでいる。前回調査に比べて87,512人（33.0%）増加しており、増加数が多いのは、ニューサウスウェールズ州（31,466人）及びクイーンズランド州（25,394人）、前回調査数と比較して伸び率が高いのは、首都特別地域（82%）、タスマニア州（56.1%）、ニューサウスウェールズ州（44.9%）などとなっている。

(単位：人)

	先住民数		対前回差 B-A	伸び率 (B-A)/A
	1991年(A)	1996年(B)		
NSW	70,019	101,485	31,466	44.9%
VIC	16,734	21,474	4,740	28.3%
QLD	70,124	95,518	25,394	36.2%
SA	16,232	20,444	4,212	25.9%
WA	41,779	50,793	9,014	21.6%
TAS	8,885	13,873	4,988	56.1%
NT	39,910	46,277	6,367	16.0%
ACT	1,593	2,899	1,306	82.0%
その他	182	207	25	13.7%
合計	265,458	352,970	87,512	33.0%



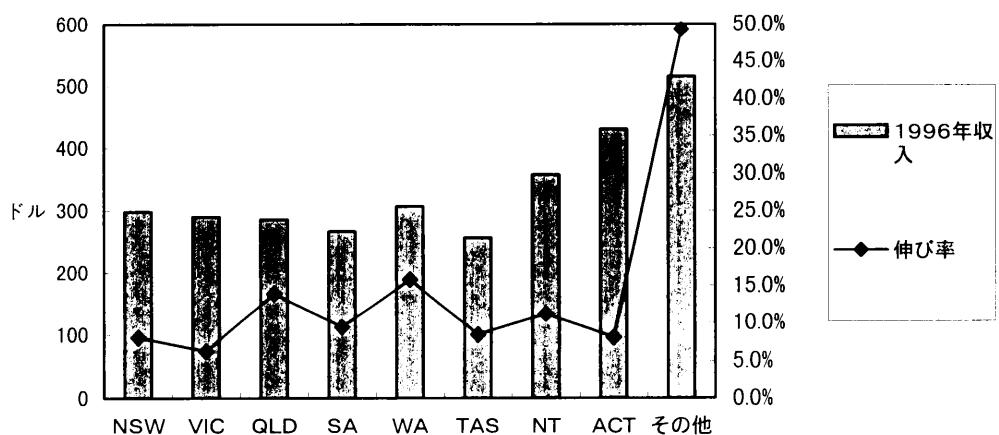
## 6 所 得

週当たりの中位個人所得を州別に見ると、首都特別地域の430豪ドルが最も高く、次いで北部特別地域の358豪ドルで、全国平均額（292豪ドル）をかなり上回っている。逆に最も低いのは、タスマニア州（257豪ドル）、南オーストラリア州（267豪ドル）である。

1991年から1996年の5年間の伸び率を見ると、最も高いのは西オーストラリア州（15.8%）、次いでクイーンズランド州（13.9%）、北部特別地域（11.2%）となっている。

(単位：豪ドル)

	中位週当たり収入		差 B-A	伸び率 (B-A)/A
	1991年(A)	1996年(B)		
NSW	276	298	22	8.0%
VIC	273	290	17	6.2%
QLD	251	286	35	13.9%
SA	244	267	23	9.4%
WA	265	307	42	15.8%
TAS	237	257	20	8.4%
NT	322	358	36	11.2%
ACT	398	430	32	8.0%
その他	345	515	170	49.3%
合計	268	292	24	9.0%



## 7 住宅の保有方式

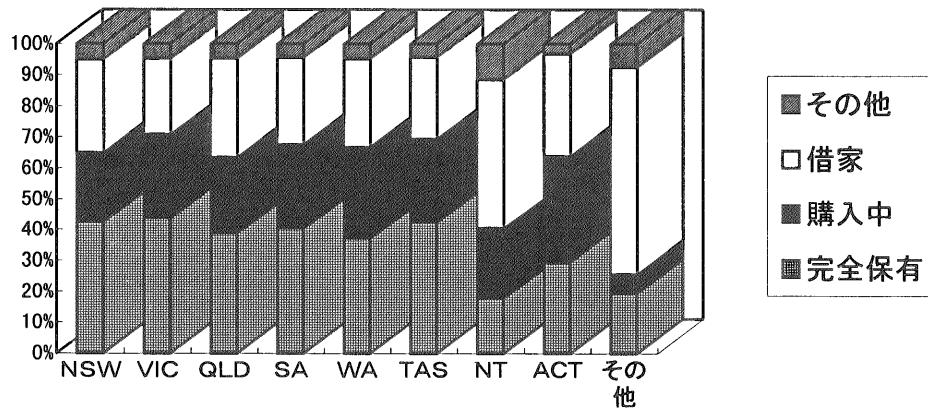
完全所有の住宅の割合は、ビクトリア州が43.7%で最も高く、次いでニューサウスウェールズ州(42.5%)、タスマニア州(42.4%)となっている。一方、この割合が最も低いのは北部特別地域(17.8%)である。

購入中の住宅の割合は、首都特別地域の34.5%が最も高く、次いで西オーストラリア州(29.8%)、南オーストラリア州(27.4%)となっている。

また、借家の割合は北部特別地域が48%と最も高く、次いでクイーンズランド州(31.8%)、ニューサウスウェールズ州(29.9%)となっている。

(単位:戸、%)

	完全保有	割合	購入中	割合	借家	割合	その他	個人保有住宅計
NSW	924,081	42.5%	489,538	22.5%	651,068	29.9%	110,230	2,174,917
VIC	695,910	43.7%	431,197	27.1%	389,128	24.4%	75,422	1,591,657
QLD	465,402	38.7%	298,312	24.8%	382,399	31.8%	57,959	1,204,072
SA	223,801	40.3%	152,575	27.4%	155,034	27.9%	24,424	555,834
WA	232,675	37.0%	187,312	29.8%	178,933	28.4%	30,383	629,303
TAS	74,260	42.4%	47,274	27.0%	46,142	26.3%	7,521	175,197
NT	10,202	17.8%	13,027	22.7%	27,563	48.0%	6,643	57,435
ACT	31,451	29.5%	36,767	34.5%	35,045	32.8%	3,423	106,686
その他	189	19.5%	60	6.2%	649	66.8%	73	971
合計	2,657,971	40.9%	1,656,062	25.5%	1,865,961	28.7%	316,078	6,496,072



## 8 家賃額

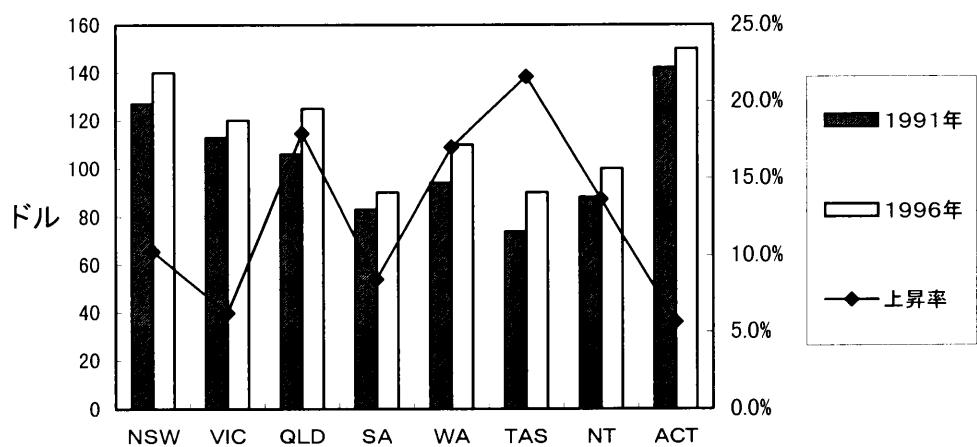
週当たり家賃額の中位数は、オーストラリア全体で1996年123豪ドルであり、1991年の109豪ドルに比較すると12.8%上昇している。

家賃額の最も高い州は、首都特別地域（150豪ドル）であり、次いでニューサウスウェールズ州（140豪ドル）、クイーンズランド州（125豪ドル）となっている。

1991年から1996年にかけての家賃額の上昇率は、タスマニア州の21.6%が最も高く、次いでクイーンズランド州の17.9%、西オーストラリア州の17%となり、逆に上昇率が低いのは、首都特別地域（5.6%）、ビクトリア州（6.2%）である。

(単位：豪ドル)

	週当たり家賃額		91～96年
	1991年	1996年	上昇率
NSW	127	140	10.2%
VIC	113	120	6.2%
QLD	106	125	17.9%
SA	83	90	8.4%
WA	94	110	17.0%
TAS	74	90	21.6%
NT	88	100	13.6%
ACT	142	150	5.6%
その他		65	
合計	109	123	12.8%



## 9 住宅ローン支払額

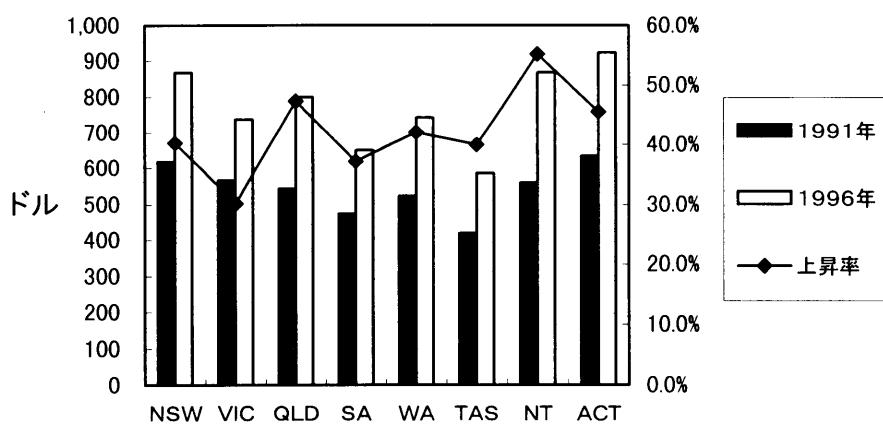
住宅ローンの支払額（月額）の中位数は、オーストラリア全体で1991年の561豪ドルから1996年の780豪ドルへと大幅に上昇し、この5年間の上昇率は39%となっている。

州別に見ると、ローン支払額が最も多い州は首都特別地域の923豪ドルであり、次いでニューサウスウェールズ州と北部特別地域の867豪ドル、逆にローン支払額が少ない州はタスマニア州（585豪ドル）、南オーストラリア州（650豪ドル）となっている。

1991年から1996年にかけての上昇率を見ると、最低のビクトリア州でも30%を超えており、最も高いのは北部特別地域の55.1%、次いでクイーンズランド州の47.3%となっている。

（単位：豪ドル）

	月当たりローン支払額		91～96年 上昇率
	1991年	1996年	
NSW	618	867	40.3%
VIC	566	737	30.2%
QLD	543	800	47.3%
SA	474	650	37.1%
WA	523	743	42.1%
TAS	418	585	40.0%
NT	559	867	55.1%
ACT	634	923	45.6%
その他		450	
合計	561	780	39.0%



## < オーストラリアと日本との比較 >

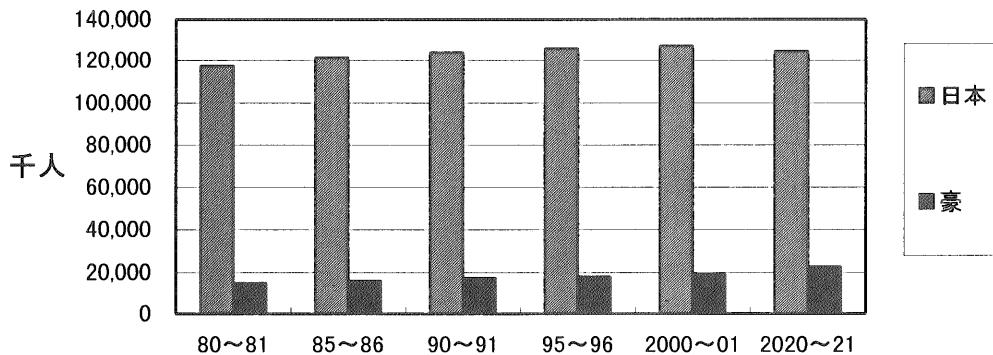
オーストラリアで1996年に、日本で1995年にそれぞれ国勢調査を行っているので、比較できるものを抽出し、両国の違いをみるとしたい。

### ● 人口

1996年におけるオーストラリアの人口は17,892千人、1995年における日本の人口は125,570千人であり、日本の人口はオーストラリア人口の約7倍となっている。

また、それぞれの国で行っている将来人口推計を加味して、過去からの人口の動きをみると、オーストラリアは場合は着実に増加する傾向を示しているのに対して、日本では2000年以降に人口が減少すると予想されている。

日豪人口比較

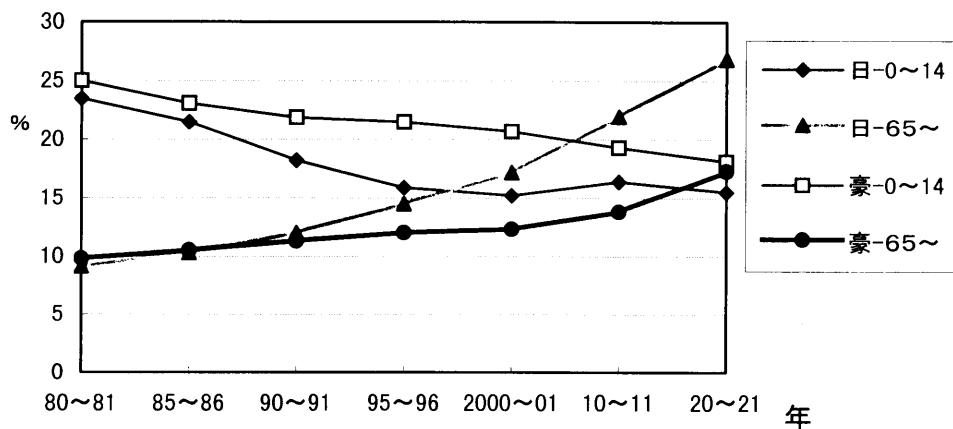


### ● 年齢別人口

1996年のオーストラリアにおける65歳以上人口の割合は12.1%、1995年における日本の同割合は14.5%であり、日本がオーストラリアを2.4ポイント上回っている。

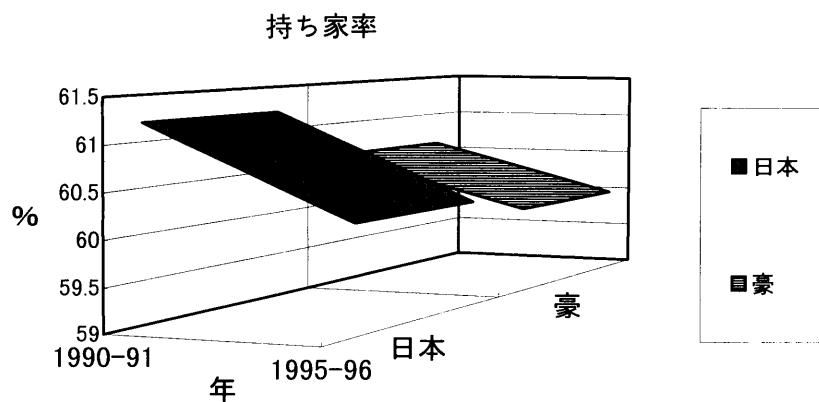
また、将来人口推計を加味して、過去からの15歳未満及び65歳以上の人口の動きをみると、両国ともに65歳以上人口の割合が増加し、15歳未満人口の割合が減少する傾向にあるが、日本の場合は特にそのスピードが早く、1997年には15歳未満人口が65歳以上人口を下回るようになっている。

### 15歳未満及び65歳以上人口の割合の推移



#### ● 住宅の持ち家率

住宅の持ち家率は、オーストラリア、日本ともに60%くらいで、それほど差はない。5年前の調査に比べると、両国ともにそれぞれ率が減少している。



## CLAIR SUMMARY既刊分のご案内

NO	タイトル	発刊日
第 1 号	海外事務所の調査報告から	1995/6/30
第 2 号	海外事務所だより(1)	1995/7/10
第 3 号	英国地方団体体験記	1995/7/10
第 4 号	海外事務所だより(2)	1995/12/12
第 5 号	英国の地方財政 その未来 ~ロンドン大学T. トラバース教授 講演~	1996/1/18
第 6 号	米国の移民問題	1996/2/15
第 7 号	海外事務所だより(3)	1996/2/28
第 8 号	米国の移民子女教育	1996/4/30
第 9 号	プロポジション187 ~米国カリフォルニア州における不法移民問題~	1996/4/30
第 10 号	地方分権に関する法の概念~フランスにおける地方分権化の主眼と今後	1996/7/31
第 11 号	海外事務所だより (4)	1996/9/30
第 12 号	国連会議「ハビダットⅡ」報告	1996/10/31
第 13 号	欧州連合諸国における就学前の幼児教育と保育制度	1996/11/29
第 14 号	海外事務所だより (5)	1996/12/27
第 15 号	分野別・1996年米国政治行政の動向	1997/1/31
第 16 号	中・東欧諸国における変革の現状と将来~地引嘉博駐	1997/3/14
第 17 号	海外における行政の動き (96年12月号)	1997/3/14
第 18 号	クリントン民主党政権と共和党支配連邦議会のもとにおける連邦制度~	1997/3/14
第 19 号	海外における行政の動き (97年3月号)	1997/6/27

CLAIR SUMMARY各号のタイトル、目次等の最新情報については、当協会のホームページ  
<http://www.clair.nippon-net.or.jp>をご覧下さい